

## 第 22 回 日本言語文化学会報告

7月7日（土）午後1時半から行われた第22回日本言語文化学会では、2名の研究発表に加え、本学会の創始者である水谷信子先生にご講演を賜りました。

第1番目の発表である谷内美智子さんの「ある場面での語彙の学習」は、学習者の語彙習得を縦断的に観察したものでした。第2番目の金孝卿さんの「内省による学習者の意識化は可能か」は、自律的学習能力を養成する上で重要な要素とされている内省に焦点を当てた研究でした。

続いて水谷信子先生には、「言語文化と日本語教育の原点」というテーマでご講演いただきました。日本語と英語の比較を通して日本語をとらえなおす意義を、ご自身の英語学習や日本語教師としてのご経験をおりまぜながらお話しいただきました。またご講演の結びでは、教育現場に根ざした研究によって学会や社会に貢献しようとする態度、意欲が重要であり、高い職業意識をもって研究活動をするのが言語文化と日本語教育の原点であるというお言葉をいただきました。

本学会は、たくさんの方々の協力を賜りながら、今後とも有意義な研究会であることを目指していきたいと存じます。今後とも多数のご応募をお待ちしております。

（菅谷奈津恵）